

高校用 横浜スイムトライアル 二次要項

参加者全員が最初に、ご理解ください。

今回の大会は、通常行われている大会運営とは大きく異なります。学校顧問の先生方は、二次要項の内容を選手に周知徹底して頂けます様よろしくお願い致します。また、大会開催に当たり、もう一度「スイムトライアル実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」を確認してください。

＜学校として用意してもらいたいもの＞

各学校で「アルコール消毒液」「ペーパータオル等」必ず用意してください。競技終了後、各学校で分けられた座席を、消毒及びふき取りをしてもらいます。また、拭き取ったペーパータオル等は各校で責任をもって持ち帰って下さい。

新型コロナウイルス感染対策として考慮すべきこと

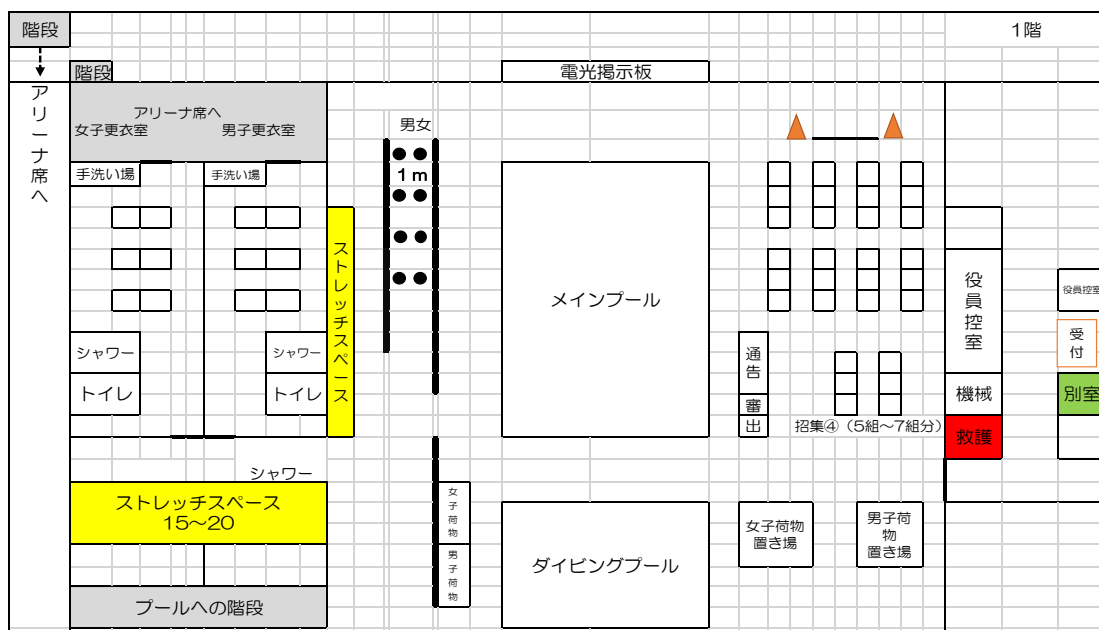
＜大会前＞

- ① 当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。また、その学校の参加については、学校長の判断に委ねる。

＜大会当日＞

- ① 学校顧問は、選手の「健康チェック表」を大会当日に確認をする。そこで、万が一体調不良を訴える生徒がいたら、大会出場を辞退してもらうこともあります。また、健康チェック表の確認欄に、サイン又は捺印がしてあるか確認してください。サイン又は捺印は、学校顧問・保護者どちらでも構いません。
- ② 入場前の検温において、平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）がでた選手の参加は認めない。
- ③ 入場前に必ず手指消毒をする。
- ④ アップやレース以外は、常にマスクの着用を義務付ける。
- ⑤ 外履きを入れる袋を用意する。（室内履きを必ず用意してください。）
- ⑥ 各学校で体調不良者が出た場合の対応について（下図参照）。

- ・アリーナ席で生徒の対応に当たっている顧問は、体調不良を訴えている生徒と一緒に保健室に同行してください。その際、「健康チェック表」を忘れずに持参して下さい。
- ・保護者が来るまでの間、体調不良者を別室に待機させることがあります。
- ・保健室を使用した学校顧問は、競技委員長に必ず報告を入れて下さい（事後報告で構わない）。



<大会後>

- ① 競技終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。また、発症した場合は、設置管理者と報告等をするため、必ず主催者にも連絡を入れこと。
- ② 大会終了後 2 週間は「健康チェック表」にモニタリングしておくように指示して下さい。(各自で保管しておくこと)。なお、大会終了後 2 週間の「健康チェック表」は、大会当日に受付で配布する。

<その他>

- ⑫ 本大会は無観客で行う。

<役員について>

- ① 顧問は役員と引率顧問の 2 人体制でお願いします。万が一の対応は、アリーナ席にいる引率顧問に対応してもらうことになります。
- ② 高校で役員に入っている先生方は、11 時 15 分「役員控室 2」に集合して下さい(下図参照)。* 「公式スタート練習」「検温・指手消毒」「生徒誘導」「駐車場誘導」「ダッシュレーンの対応」等の負担をします。
* 高校の先生方は、13:25 分に最終打ち合わせを役員控室で行います。

1. 「保管義務の書類」について

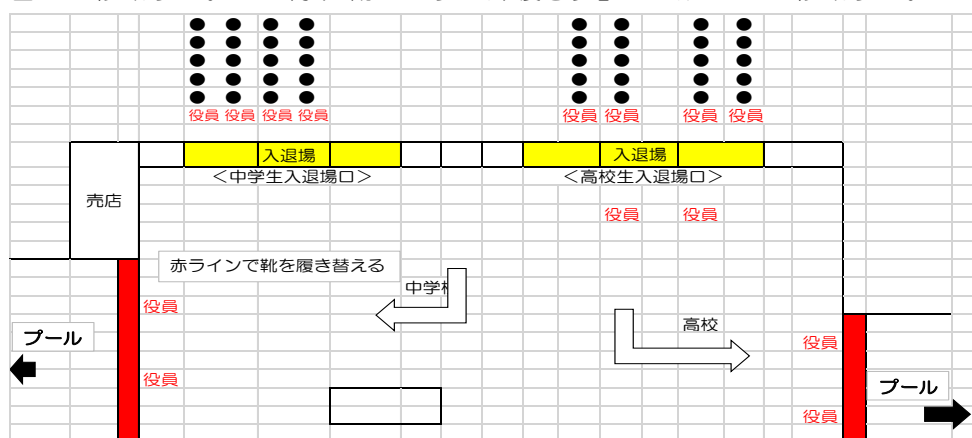
- ① 学校顧問は、選手の「健康チェック表」を大会当日に確認をする。そこで、万が一体調不良を訴える生徒がいたら、大会出場を辞退してもらうこともあります。また、健康チェック表の確認欄に、サイン又は捺印がしてあるか確認してください。サイン又は捺印は、学校顧問・保護者どちらでも構いません。
- ② 大会終了後 2 週間は「健康チェック表」にモニタリングしておくように指示して下さい。(各自で保管しておくこと)。なお、大会終了後 2 週間の「健康チェック表」は、大会当日に受付で配布する。

2. 入場について

- ① 以下の番号順に、以下のように A~D の順に時間差で入場する。

	番号	学校名	女子	男子	合計	
A 11:40入場 11:35 整列	1	桐蔭学園	3	15	18	
	2	横浜清陵	9	13	22	
	3	クラーク国際	1	0	1	
	4	神奈川総合	2	3	5	
	5	旭高校	5	15	20	
	6	関東学院中高	2	4	6	
	7	南	1	6	7	
	8	捜真	19	0	19	
	9	緑ヶ丘	4	8	12	
	10	横浜高校	棄権			
	11	横浜学園	3	6	9	
	12	みなと総合	9	6	15	134
B 11:50入場 11:45 整列	13	日大高	15	35	50	
	14	柏陽	0	12	12	
	15	武相	0	23	23	
	16	浅野学園	0	11	11	
	17	金沢総合	1	1	2	
	18	東	0	4	4	
	19	金沢	11	21	32	134
C 12:15入場 12:10 整列	20	光陵高校	5	20	25	
	21	戸塚	8	11	19	
	22	慶応	0	30	30	
	23	県立鶴見	7	24	31	
	24	横浜創学館	8	21	29	134
D 12:25入場 12:20 整列	25	横浜隼人	9	25	34	
	26	県立港北	6	11	17	
	27	瀬谷高校	12	23	35	
	28	横浜南陵	6	9	15	
	29	舞岡	5	10	15	
	30	桜丘	4	6	10	
	31	神奈川学園	10	0	10	136
			165	373	538	

- ②入場 5 分前には入口付近に学校ごとに並び、役員（下図参照）の指示に従い手指消毒と検温を行う。
- ③館内に入ったら以下の図のように、中学校と高校の出入り口を分けて入退場を行う。赤いラインテープの前で靴を履き替えて移動する。その際、靴は必ず「外履き袋」に入れてから移動する。



- ⑤今大会は一度入館したら外には出られません。鍵の施錠時間以下の通りです。なお、中学校は、全ての競技が終わってから、アリーナ席にいる学校顧問と一緒に退場する。

時間	午前：中学の部	時間	午後：高校の部
施錠時間	8:00～11:50	施錠時間	12:45～15:00
退場時間	12:10～12:50	入場時間	11:40～12:40

3. 各校のアリーナ席について

①各校のアリーナ席の割り当ては別紙参照。決められた場所以外の座席には座らないようにする。

4. 「プールへの移動と更衣室」「アリーナ席への移動」について

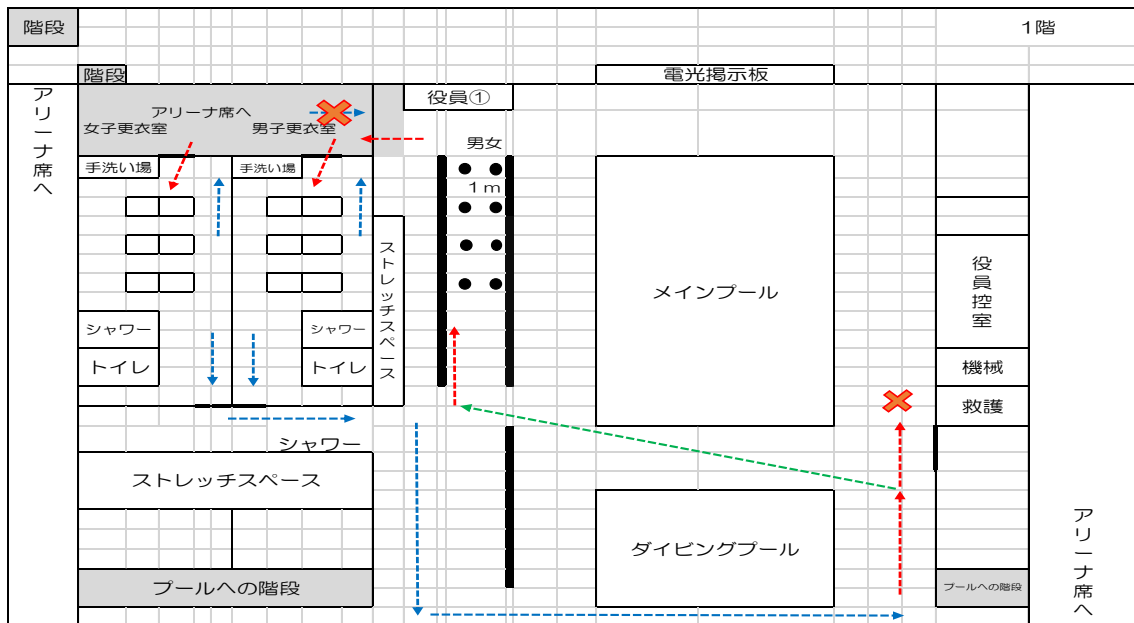
①プールへの移動は、ダイビングプール側の奥の階段を利用する。(下図参照) その際、階段が密になるので、前後の間隔を1m以上開けソーシャルディスタンスを確保する。

②プールからアリーナ席への移動は、①の階段を使用する。

③プールサイド内の「洗面所・手洗いの移動」は、下図の赤線を通して更衣室へ向かう。更衣室・洗面所から出る時は、青の動線のように密を避けながら2か所から更衣室を出るようにする。ただし、プールサイドから更衣室へ入ってくる入口は通ってはならない。(下図の✕)。

④1度に更衣室に入る人数は最大50名とし、5分ごとに20~30名ずつ更衣室へ入室させていく。その際、役員①②が入口付近に常駐しているので、役員の指示に従う。

⑤緑の点線はアップまでの移動とし、競技が始まったら移動はできない。



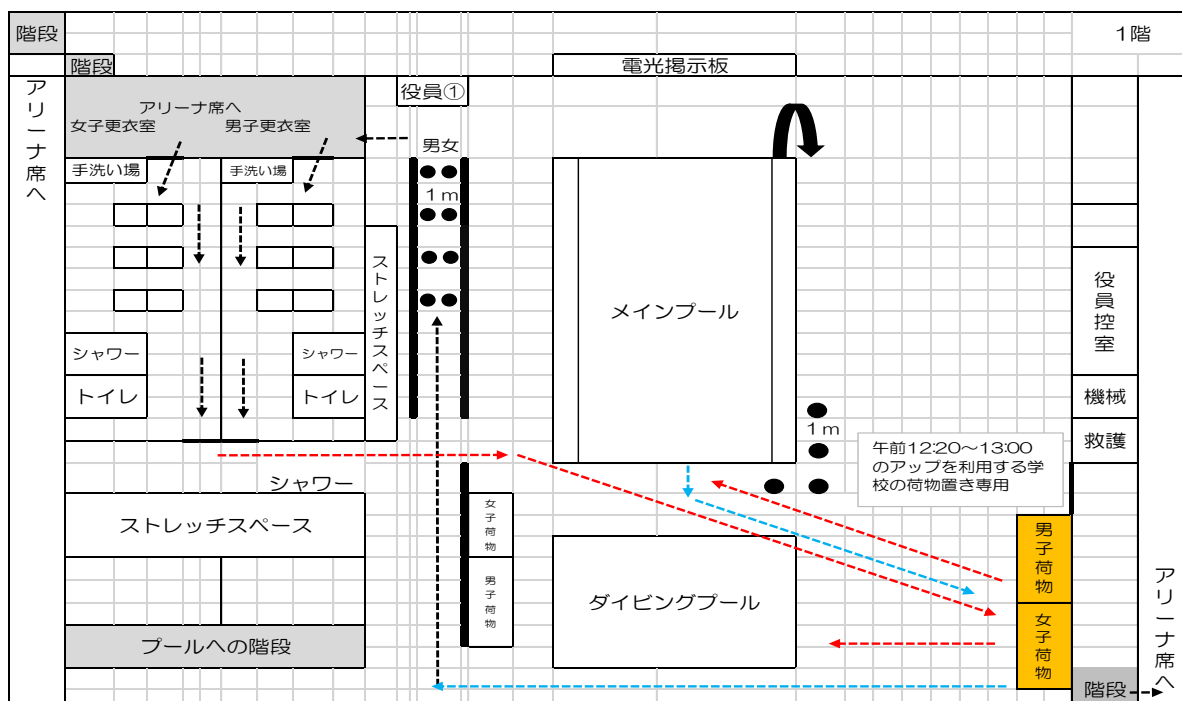
5. アップ割り振りについて

①下表は、各校のアップ時間とレーンの割り振りを示したものである。メインプールでアップの混雑を避けるため、1レーンにつき最大30名以内とした。

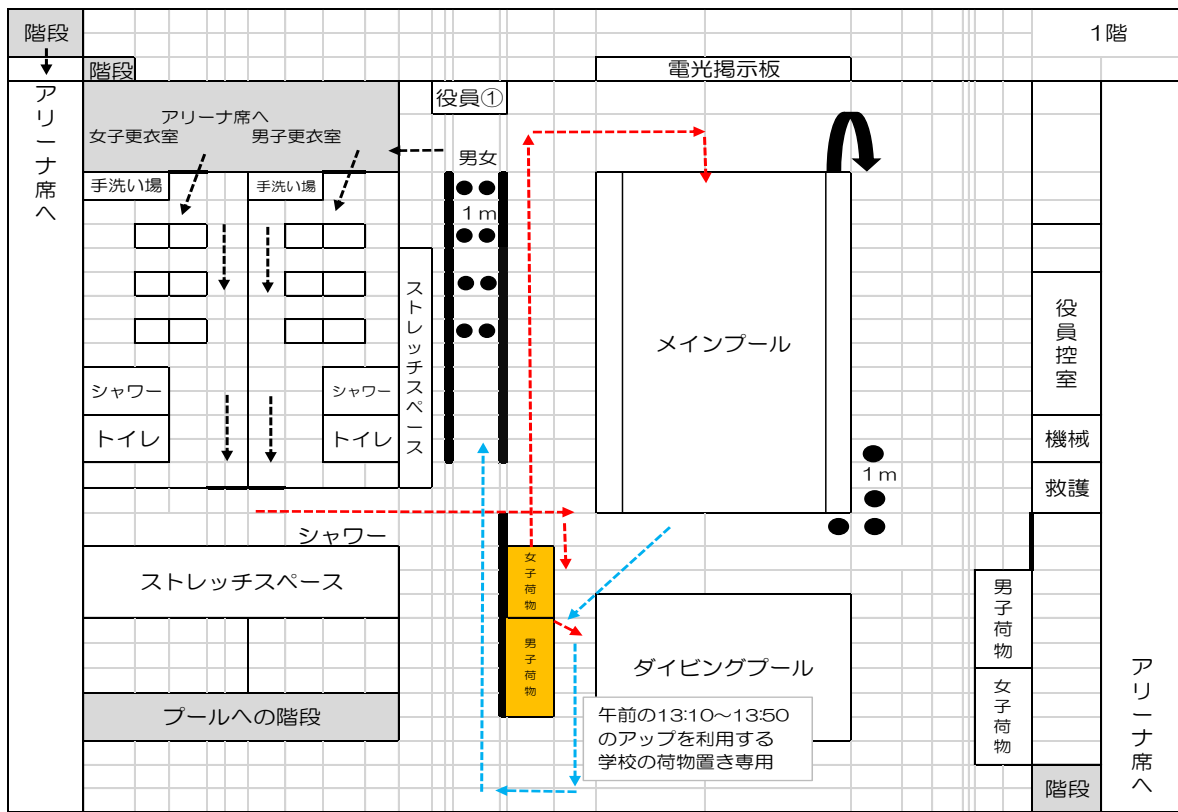
アップ時間 メインプール12:20～13:00 ダイビングプール12:20～					アップ時間 メインプール13:10～13:50 ダイビングプール12:50～				
学校名	女子	男子	合計	アップレーン	学校名	女子	男子	合計	アップレーン
桐蔭学園	3	15	18	2・3レーン	慶応	0	30	30	2レーン
横浜清陵	9	13	22		県立鶴見	7	24	31	3レーン
旭高校	5	15	20		横浜創学館	8	21	29	4レーン
捜真	19	0	19	4レーン	横浜隼人	9	25	34	5・6レーン
緑ヶ丘	4	8	12		県立港北	6	11	17	
日大高	15	35	50	5・6レーン	桜丘	4	6	10	
南	1	6	7		神奈川学園	10	0	10	7レーン
関東学院中高	2	4	6	7・8レーン	戸塚	8	11	19	29人
神奈川総合	2	3	5		光陵高校	5	20	25	8・9レーン
武相	0	23	23		瀬谷高校	12	23	35	
横浜学園	3	6	9		横浜南陵	6	9	15	10レーン
みなと総合	9	6	15		舞岡	5	10	15	
クラーク国際	1	0	1		59人				
東	0	4	4	9レーン		80	190	270	
柏陽	0	12	12						
浅野学園	0	11	11						
金沢総合	1	1	2		29人				
金沢	11	21	32						
	85	183	268						

6. アップと荷物置き場について

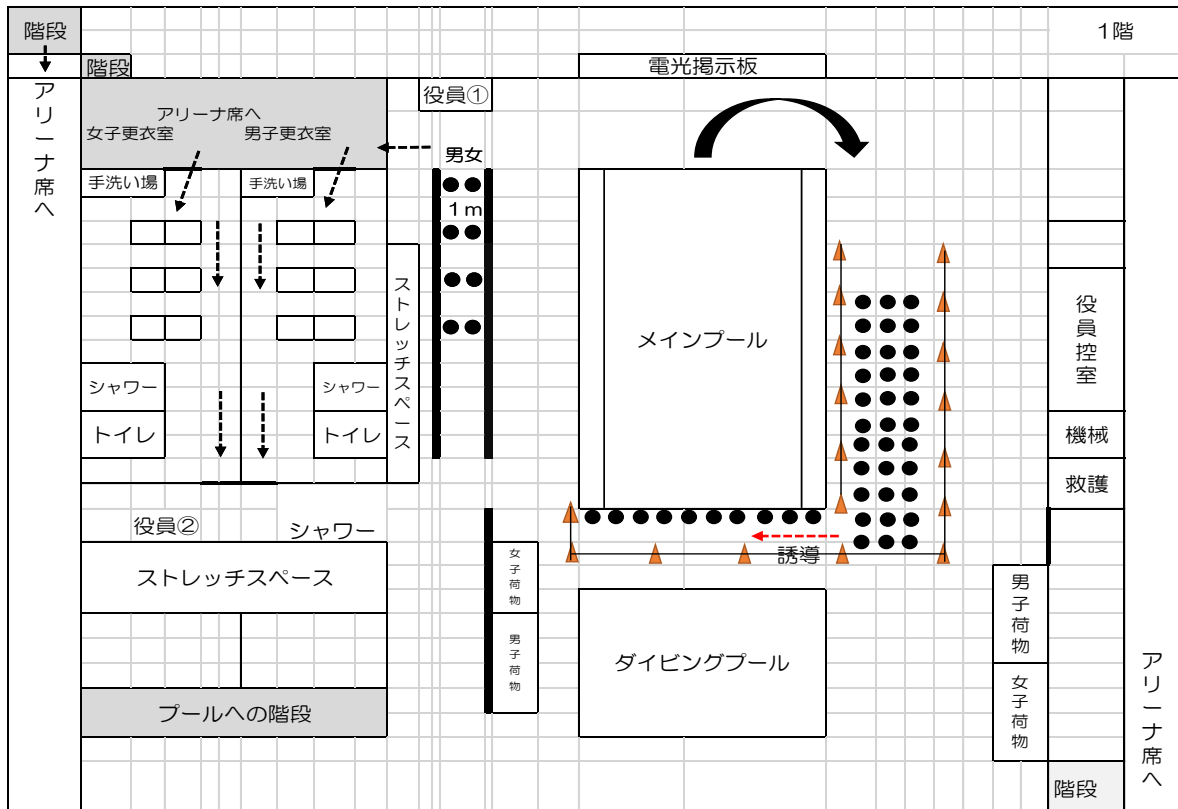
- ①高校の 12:20～13:00 にアップを行う学校は、下図の赤の動線に沿って荷物置き場まで移動しアップを行う。また、メインプールから上がるときは、下図の青動線に沿ってプールから上がるようにする。
- ②1レーンは常時ダッシュレーンとする。また、12:50 から全レーンダッシュレーンとする。
- ③ダイビングプールの使用は 12:20 からとする。



- ④高校の 13:10～13:50 にアップを行う学校は、下図の赤の動線に沿って荷物置き場まで移動しアップを行う（ターン側から入水）。また、メインプールから上がるときは下図の青動線に沿ってプールから上がるようにする（練習道具は各自で適宜取りに行くようにする）。
- ⑤1レーンは常時ダッシュレーンとする。また、13:40 から全レーンダッシュレーンとする。
- ⑥ダイビングプールの使用は 12:50 からとする。



⑦全レーンダッシュレーンの場合、下図のように3列で並び、誘導係の指示に従う。

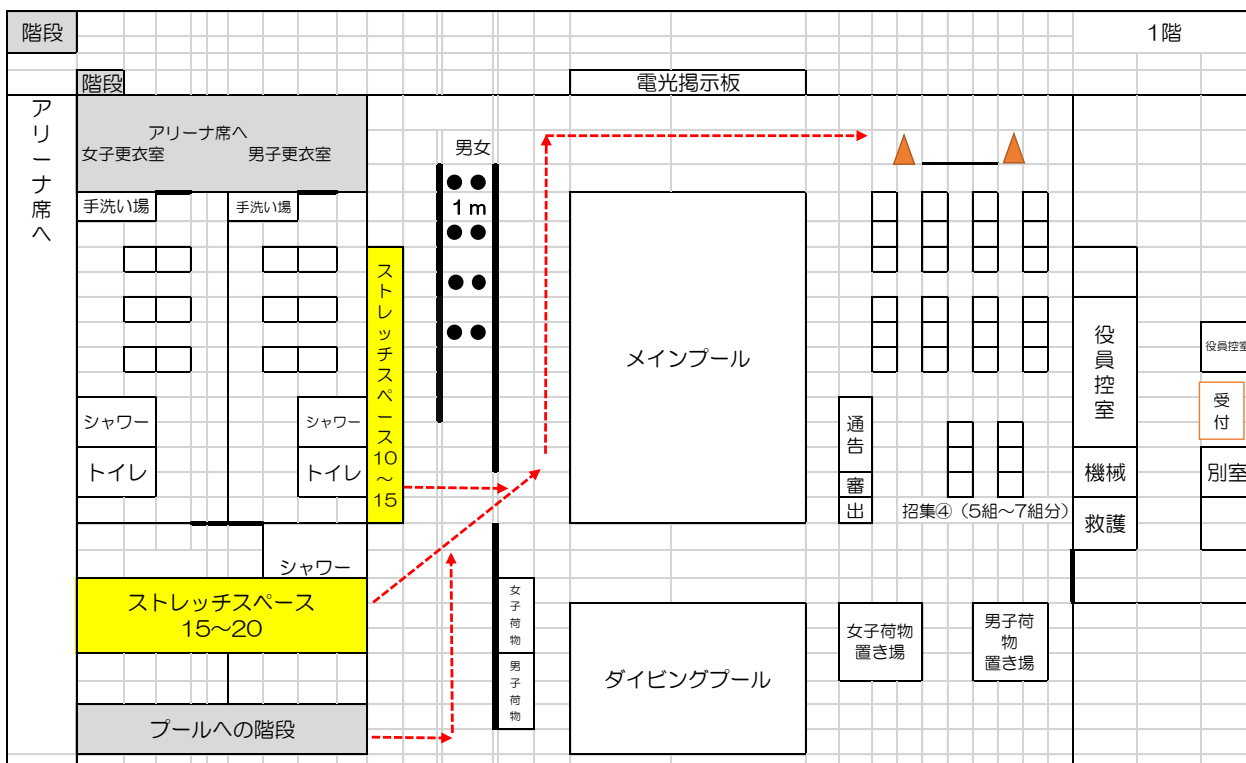


レースが開始されてからは、「マスク着用」と「ソーシャルディスタンス」を心がけて行動する

7. 「ストレッチスペース」と「招集場」について

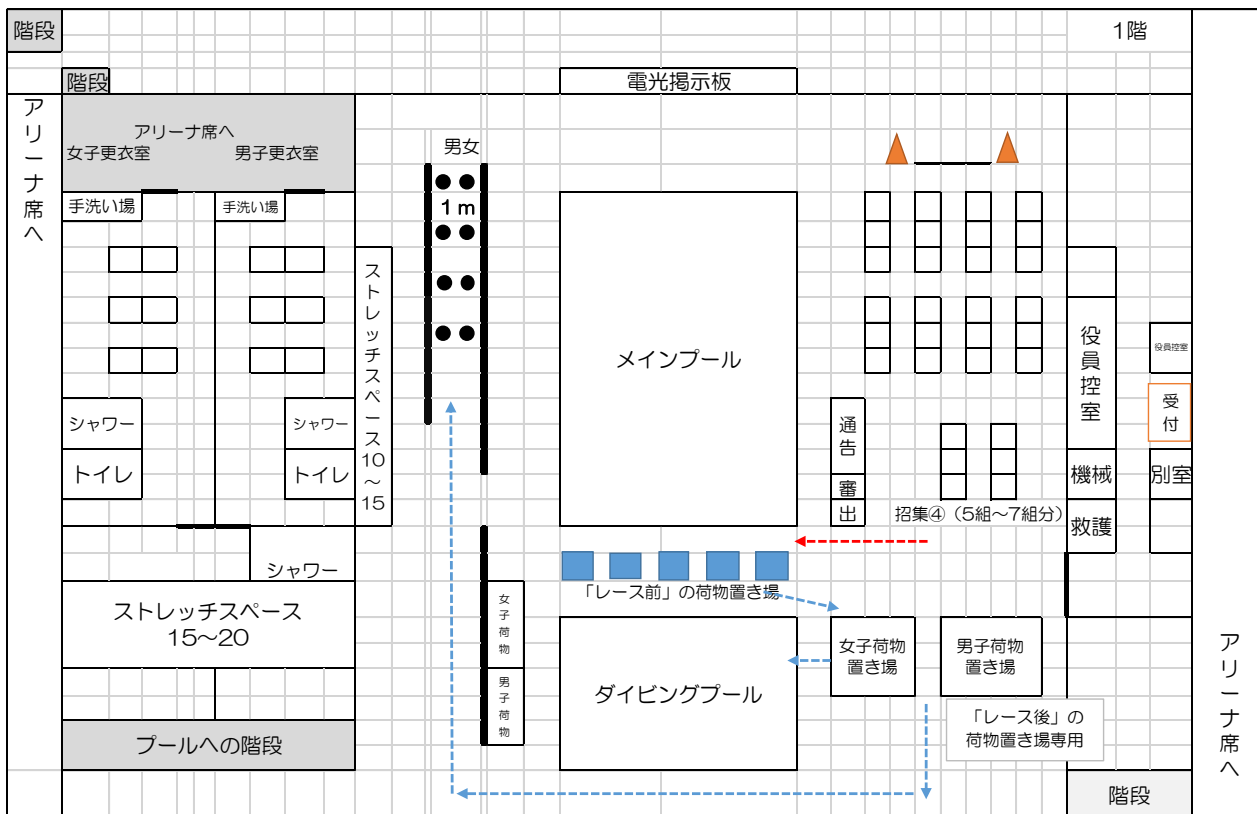
- ①ストレッチスペースおよび招集場へ行くときは、下図の赤の動線に従って移動する。
- ②ストレッチスペース（全体で30~35ヶ所を予定）は、使用できる個所をテープで区切っている。
- ③ストレッチスペースを使用は一人15分を超えないようにする。また、各自でストレッチマット用意する
*ストレッチマット無しの使用は禁止する。

④ 招集場への移動は赤の動線に従った行動する。また、各レースの招集は、タイムテーブルを確認して行動する。

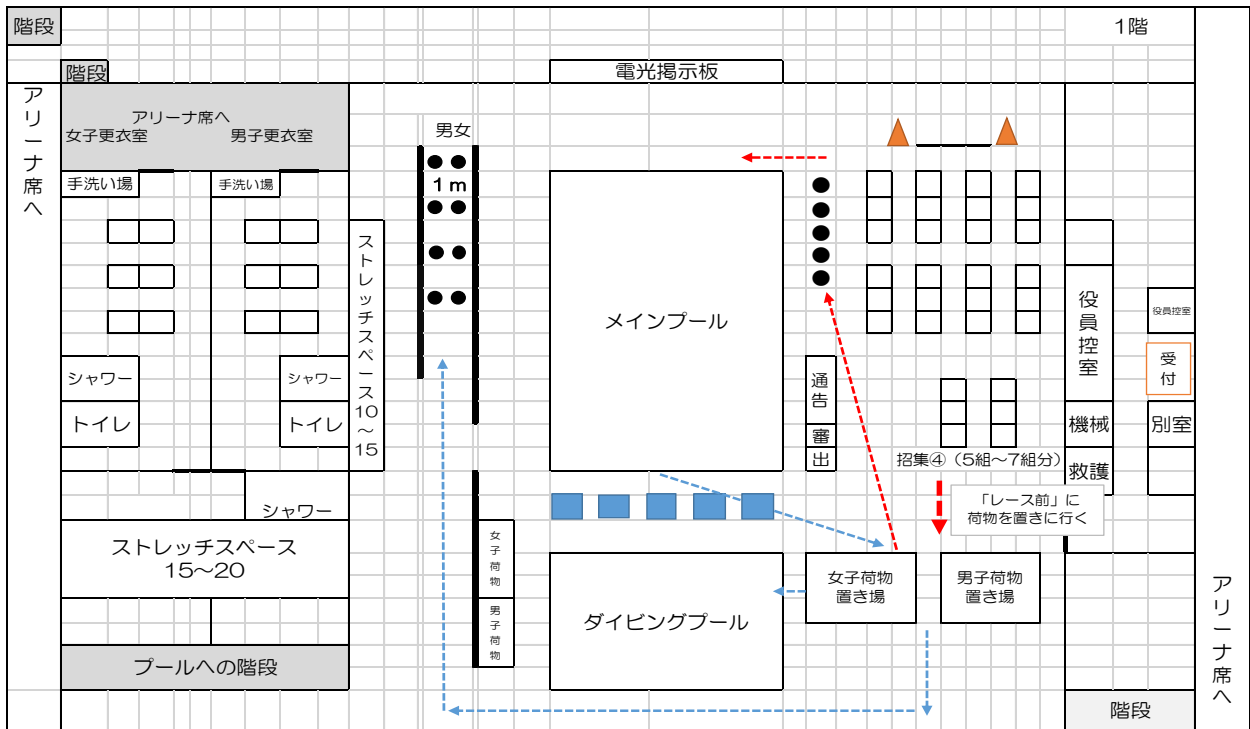


8. レースについて

① 100mと200mに出場する選手は下図のように赤の動線に従って、各レーンに移動し「レース前の荷物置き場」に荷物を置く。レース後は、青の点線に従い、荷物を「レース後の物置き場」に移動してダウンを行う。



⑤ 50mに出場する選手は、招集の指示にしたがい、赤の動線のように、先に荷物を「荷物置き場」に移動させてからターン側へ移動する（下図参照）。



9. 「競技役員」について

①競技役員は、審判長2名、競技進行2名、出発合図2名、招集8名、計時12名、折り返し10名、コンピューター2名、機械3名、通告3名・場内指令12名の計56名で行う。

*今回の場内指令の仕事は、主に更衣室誘導、ストレッチスペースの管理、階段誘導となります。

②選手と一番密接になる「招集」、「計時」、「場内指令」等にあたっている役員には、個別に小分けしたアルコールスプレーを配布します。必要に応じて使って下さい。

10. 「開閉会式」について

①開閉会式は行わない

11. 「撤収時間」について

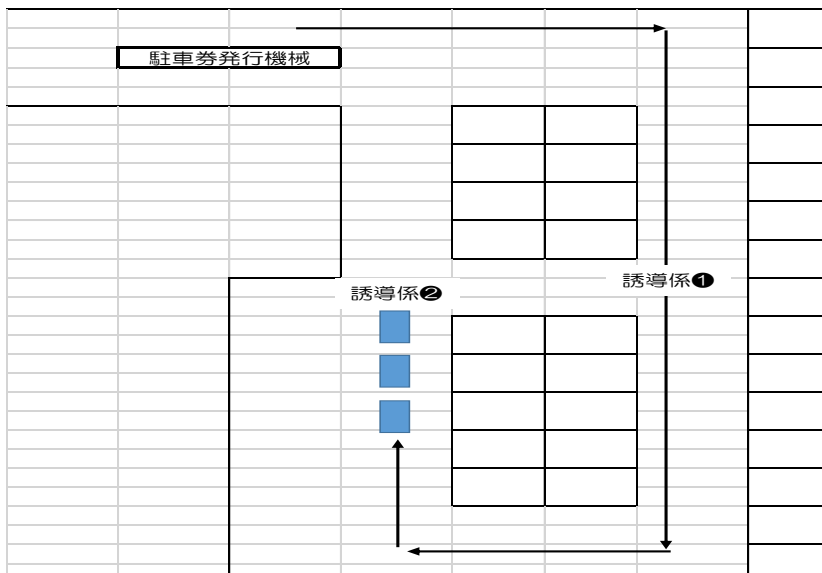
選手のプールサイド撤収時間は17:35（競技終了後17:24）、館内からの完全撤収17:55

12. 「競技結果」について

①各種目の競技結果については、入口付近に掲示する。

13. 「自家用車での送迎」について

①学校顧問の先生方は、地下駐車場内での乗り降りするように、保護者に連絡して下さい。その際、役員の指示にしたがい乗り降りをする（下図参照）



「競技結果」について

各種目の競技結果(速報)については、感染防止により館内の掲示しません。

午前・午後すべての競技を集計したものは、準備でき次第、横浜水泳協会 HP にアップする。

応援

飛沫感染防止の為、禁止します。

忘れ物

感染予防の為、その日の内に廃棄します。予めご了承ください。

プール利用について

- ・盗難には十分ご注意ください。

持ち物及び貴重品は、個人又はチームで管理をお願い致します。なお、紛失、盗難がありましても当協会は一切責任を負えません。予めご了承ください。

- ・プールサイド・ロッカー室での飲食・喫煙はできません。飲食は観客席でお願いします。

競技について

- ・原則として、2021 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に準じて行います。
- ・今大会は参加種目数が多く、競技進行をなるべくスムーズにする為、オーバーザトップで行います。泳ぎ終わったらプール内レーンロープにつかまって待機し、次のレースが開始してから退水するようにして下さい。
- ・水深は2m です。ウォーミングアップ時等十分に注意してください。
- ・「テーピング」や「ピアス・イヤリング」「ミサンガ」等の装飾品の使用は禁止します。但し、ケガによるテーピング等の使用は事前に審判長に申告すること。

撮影について

- ・撮影をする場合は原則禁止とし観覧席のみ顧問の許可のもと行うことを許可します。
- ・フラッシュを使用した撮影を禁止します。
- ・プールサイトでの撮影は禁止します。
- ・撮影している不審者を見かけた場合は、受付までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

その他

- ・学校単位で出場されている団体の引率兼競技役員の方については、学校側より旅費の支給がある場合は当協会からの交通費の支給はありません。支給がない場合は、競技役員受付の際にお申し出下さい。
- ・プールへの往復時に通行の妨げ注意や、ごみのポイ捨て禁止などのルールを守りましょう。